

資源物の集団回収



① 姉体小学校PTAの集団回収で集められた古紙の山 ② 1本は1kgに換算 ③ 収集車で専門業者へ運ばれ、資源として再利用されます。この日は、古紙13ト、金属類1.8ト、ビン類は1,300本を超える資源物が集められました

放射線ミニ情報

8月31日に前沢ふれあいセンターで開催した放射線学習会の要旨を、お知らせします。

●大気環境から見た放射線 県立大学総合政策学部 佐野 嘉彦 教授

福島第一原発事故の影響で、放射性物質が風雨で運ばれてきたのは間違いありません。ホットスポット（高い放射線量が測定された場所）という報道がありますが、情報の信ぴょう性に欠ける部分もあるので注意が必要です。

放射性物質は大気中に存在しており、降り始めの雨は危険性があります。気になる人は傘をさすことを勧めます。キノコなどの自生している植物は、放射性物質が蓄積されている可能性があるため注意が必要です。

●放射線の人体への影響 前沢診療所

山田勝 放射線技師長

日本の年間放射線被ばく量は国際放射線防護委員会（ICRP）の勧告によって年間1ミリシーベルトと定められています。この被ばく量を超えたからといって必ずしも病気になるとは限りません。

年間の被ばく量が100ミリシーベルト以下では、病気になる確率が放射線によるものか生活習慣によるものかは科学的に実証されていません。過度に心配をしすぎて、心の病気になった事例もあるので注意してください。

■問い合わせ＝本庁生活環境課環境係（内線213）



姉体小学校PTA
会長 伊藤裕二 さん

姉体小学校PTAでは、地域の家庭に協力してもらい、集団回収を行っています。スクールバンドの活動に役立てています。子どもたちも学校でリユース活動をしたり、地域の清掃活動をしたりして、エコ活動に関心を寄せています。

- ① 団体で、資源物を回収する日時や場所を決めて、対象世帯にお知らせします
 - ② 回収日時に合わせて、資源物回収業者に引き取りに来てもらいます
 - ③ 資源物回収業者から、仕切書（資源物の買取明細）と売却代金を受け取ります
 - ④ 仕切書を添付して、報奨金の交付を申請します
 - ⑤ 回収量に応じた報奨金が団体指定の口座に振り込まれます
- 問い合わせ＝本庁生活環境課生活衛生係（内線215）

- 紙類（新聞紙、雑誌、段ボール）
 - 金属類（アルミ缶、スチール缶のみ）
 - ビン類（再使用できるビンのみ）
- 姉体小学校PTAは8月27日、資源物の集団回収を行い、13トを超える資源物を回収しました。
- ここでは、学校や地域で活用されている資源物の集団回収についてお知らせします。
- Q 資源物集団回収ってなに？**
A 集団回収とは、子ども会、自治会・町内会、老人会や学校・PTAなどの団体が、家庭から出る資源物を回収することです。
- Q どんな制度？**
A 資源物集団回収は市民、事業者、行政がそれぞれの役割に応じて、ごみの減量化とリサイクルに取り組みする制度です。
- Q 回収品目は？**
A 市で助成を行う集団回収の品目は次のとおりです。
- Q 報奨金は交付されるまでの流れは？**
A 資源物の集団回収から、報奨金交付までの流れは次のとおりです。
- Q 集団回収のメリットは？**
A 次のようなメリットがあります。
- ① 市から、報奨金が交付されます
- ② 回収した資源物の売却代金は、実施した団体の活動資金として活用できます
- Q 報奨金はいくら交付されるの？**
A 報奨金は1kg当たり3円を交付します。ビン類は1本につき0.5kgに換算します。
- Q 集団回収を始めるには？**
A 地域で活動する団体であれば、登録などの必要ありません。家庭から出る、リサイクル可能なものを収集し、資源物回収業者に回収を依頼します。